



Spot 01

昔、この辺りは下境店屋渡しに通じる街道として栄えていましたが、道の巨石が通行を妨げていました。ある日、通りがかりの屈強な武士が、この巨石を持ち抱え地蔵堂の脇側に移し立ち去ったそうです。後にこの武士が、塙壇右衛門とわかり、巨石を「塙石」と名付け、今に語り継がれています。

薬師堂は、享禄元(1528)年創建、下境光福寺の請け持ちとあります。



Spot 02

祭神は、伊弉諾命、伊弉冉命で、寛喜元(1229)年氏神祭祀の記録があります。康応元(1389)年に祭壇を作り、歴史を刻みつつ修復を重ねてきて、平成16年3月に総改築を行いました。

慶長4(1599)年筑前名島藩、小早川隆景の家臣、岩見重太郎の「ひひ」退治伝説で有名な神社でもあります。



Spot 03

岩見重太郎「ひひ」退治伝説の場所。蛇宮日の奥の院祭事は、目隠した神官が日本刀を振りながら後退するという奇祭でした。蛇宮日の謂れは、康応元(1389)年疫病流行の折、山上の樹上に霊光があり、これを祟め鉾、弓、矢を奉納祈願すると悪疫の流行が治まったといわれています。

以来この神事は700年以上続いていました。



Spot 04

長崎街道は元文元(1736)年の往還替までは、赤地渡し(店屋の渡し)から赤地村中へ続いていた。赤地天満宮は、その当時の面影を今に残す赤地唯一の細道に面して建っています。建立の時や由来は確かではありません。境内には、小竹町で一番大きな銀杏の大樹があり、胸高囲は5m60cmあります。

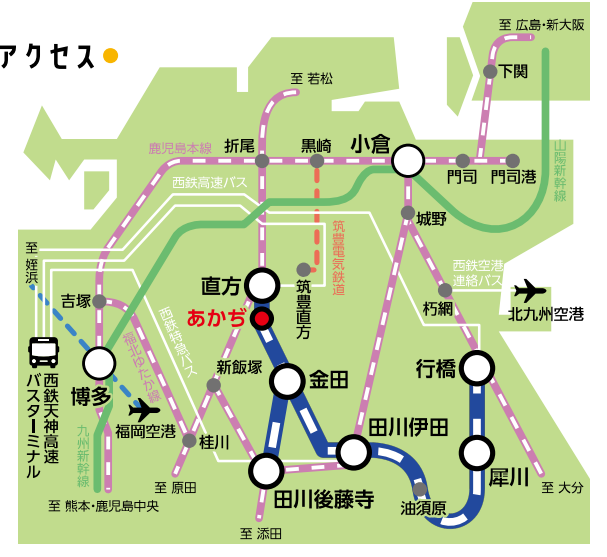


Spot 05

長崎街道赤地区の入口。参勤交代制度が確立された寛永12(1635)年から約100年間、南長津と赤地を結ぶ渡しとして通行が行われた場所です。

明治時代になると、石炭を運ぶ川舟(五平太舟)船頭の立ち寄り場所となっていました。渡し場付近には大きな榎がありましたが、今では大樹も、渡しの面影も見ることができません。

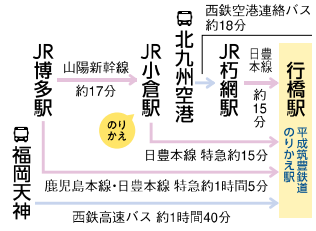
● アクセス ●



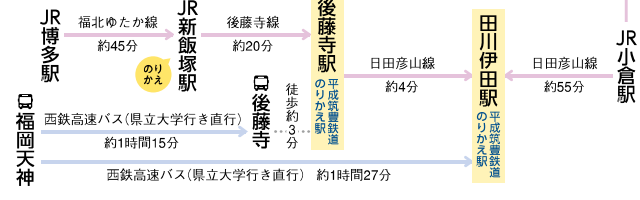
▶ 直方駅までのアクセス



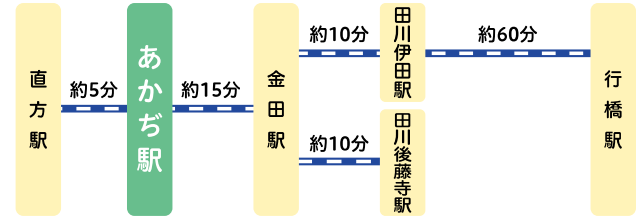
▶ 行橋駅までのアクセス



▶ 田川後藤寺駅・田川伊田駅までのアクセス



平成筑豊鉄道



平成筑豊鉄道株式会社

〒822-1201 福岡県田川郡福智町金田1145-2
 TEL.0947-22-1000 <http://www.heichiku.net>

小竹町

市町村おすすめコース編

2021

へいちく

HEICHIKU WALK

ウォーク

平成筑豊鉄道の駅を起点に沿線の史跡や見どころを訪ね歩き、季節の風を感じながら新しい発見をしてみませんか?

ウォーキングを始める前に

- 伸脚**
浅い伸脚と深い伸脚をし、膝の裏側が伸びているのを感じましょう。
- 膝回し**
膝頭に手を置き、膝が動いていることを確認しながら右回り、左回りと膝を回しましょう。
- 背中伸ばし**
手を組んで肩の高さに伸ばし、腕を伸ばして背中中の筋肉を伸ばしましょう。

Pick up! 靴の選び方

- 材質
軽く通気性が良いもの
- つま先
指先が動かせる余裕があるもの
- 土踏まず
中敷きで支える形のもの
- 足の甲
締付けず紐で調整できるもの
- 靴底
動きに合わせてしなやかに曲り、厚みがありクッション性が良いもの
- かかと
しっかりとかかとを包み込むもの



HEICHIKU WALK at Kotake Town



↑ 昨年のへいちくウォークの様子(沈下橋)



へいちくウォーク

小竹町
コース

- ✓ 美しい日本の歩きたくなる道500選
- ✓ スタート・ゴール：あかぢ駅
- ✓ 総距離：4 km

